

点検・修繕等の結果の記録

- ①点検結果等の保存事例
- ②修繕等の結果の記録

①点検結果等の保存事例

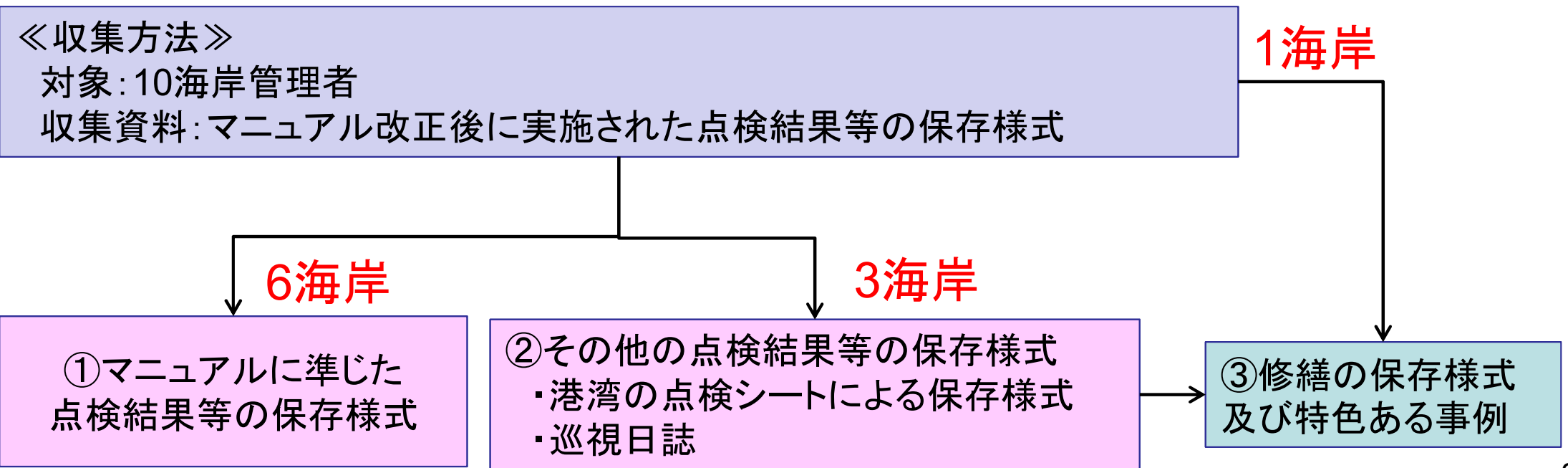
点検結果等の保存事例

- マニュアル改定後に実施された点検結果等の保存様式を事例として収集した。
- 点検結果等の保存様式については、マニュアルに準じた保存様式を紹介する。
- 修繕の保存様式については、台帳に修繕情報を反映した事例を紹介する。

【海岸保全施設維持管理マニュアル(平成26年改訂)に準じた点検様式】

- ・重点点検箇所
- ・巡視(パトロール)用シート
- ・点検シート (全体図記入シート、点検結果記入シート、変状写真シート)
- ・その他(点検・変状ランクの判定・健全度評価の結果一覧)

【マニュアル改定後の点検結果等の保存事例】

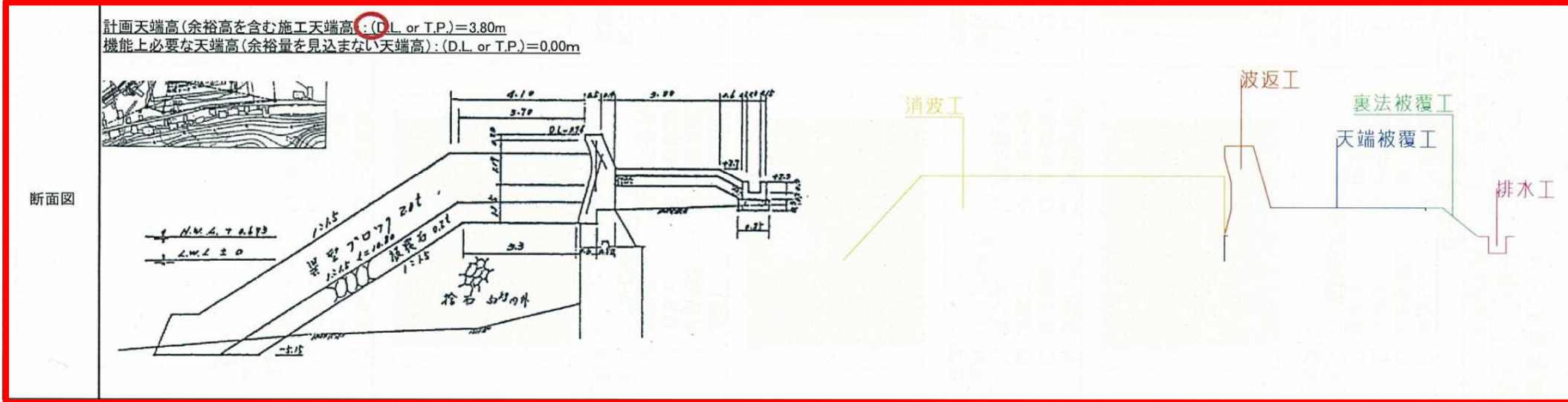
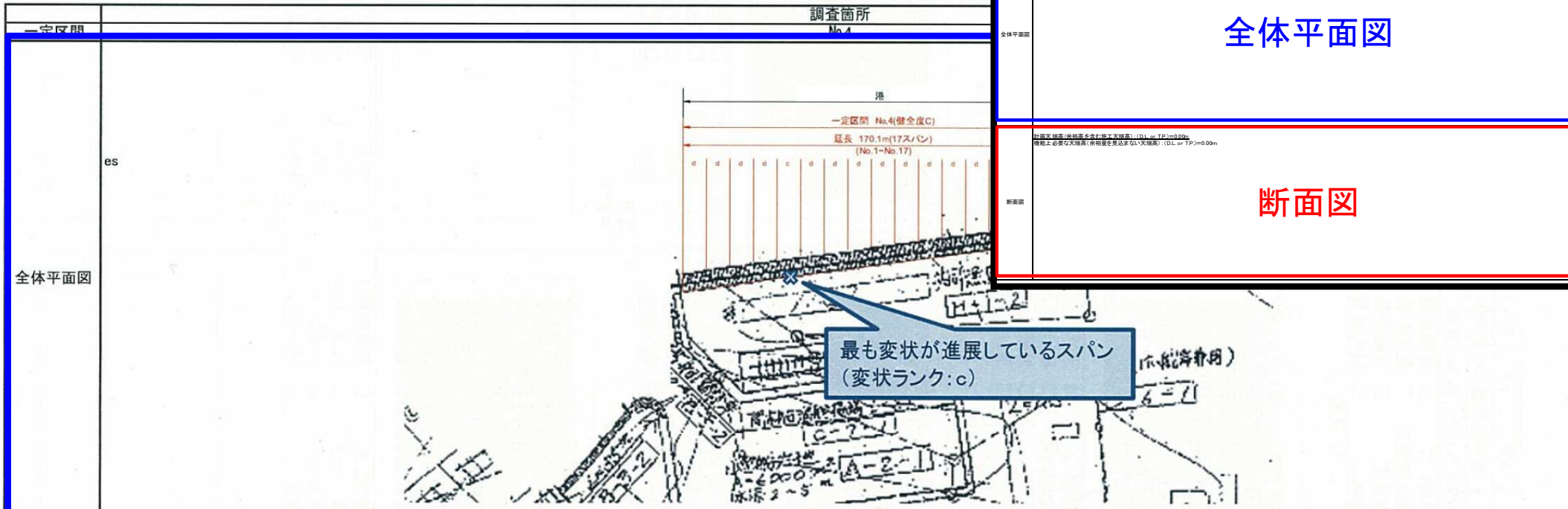


マニュアルに準じた保存様式 点検シート(全体図記入シート)

全体図記入シート

海岸名	港	地区海岸名	
点検者氏名		点検者所属	

全体図記入シート	
海岸名	地区海岸名
点検者氏名	点検者所属
調査箇所	
No.4	
全体平面図	全体平面図
断面図	断面図



マニュアルに準じた保存様式_点検シート(点検診断結果記入シート)

色分けをして記録

海岸保全施設定期点検 点検結果記入シート

【調査概要記入欄】

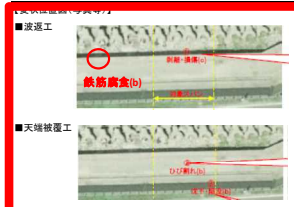
管理番号	01-001-0012-0002-1	地区海番号	〇〇港海番	地区海番号	〇〇地区
点検者所属	〇〇〇株式会社	点検者氏名	点検を実施した全範囲		No.1~No.12
調査年月日		天候	曇		
スパンNo.	T				

点検位置	変状現象	変状、損傷等のランク				結果	計測寸法 (最大値)
		a	b	c	d		
波渡工 胸壁については 堤体工)	防護高さの不足	防護高さを見直しがない。	—	—	防護高さを確認している。	d	L=D
	ひび割れ	材料貫通まで達するひび割れ・亀裂が生じている(幅≧1mm程度以上)。	縦筋方向に幅≧1mm程度のひび割れがあるが、貫通まではしていない。	1方向に幅≧1mm程度のひび割れが生じているが、貫通まではしていない。	1mm以下のひび割れが生じているが、ひび割れが見えない。	d	L=B
	剝離・損傷	広範囲に剝離、または剥出ししている。	高層部分でなく、材料の深層まで剝離・損傷が生じている。	広範囲でもっとも悪影響の剝離・損傷が生じている。	ごく小範囲の剝離・損傷が生じているが、剝離・損傷が生じていない。	c	L=B
	目地の開き、相対移動量	目地あるいは欠陥がある。	目地が若干開き、水の浸透はない。	目地ずれがあるが、水の浸透はない。	目地開きが生じているが、浸透、開きが見られない。	d	B=D
天端被覆工 水叩き工を含む)	防護高さの不足	防護高さを見直しがない。	—	—	防護高さを確認している。	d	L=D
	ひび割れ	材料貫通まで達するひび割れ・亀裂が生じている(幅≧1mm程度以上)。	縦筋方向に幅≧1mm程度のひび割れがあるが、貫通まではしていない。	1方向に幅≧1mm程度のひび割れが生じているが、貫通まではしていない。	1mm以下のひび割れが生じているが、ひび割れが見えない。	d	L=B
	目地の開き、打撃部等の状況	目地開き、打撃部等のずれが大きく、堤体土の露出がみられる。	目地開き、打撃部等より水の浸透がある。	目地開き、打撃部等にずれがあるが、水の浸透はない。	目地開き、打撃部等わずかなずれ、浸透、開きが見られるが、浸透、開きが見られない。	d	B=D
	剝離・損傷	広範囲に剝離、または剥出ししている。	高層部分でなく、材料の深層まで剝離・損傷が生じている。	広範囲でもっとも悪影響の剝離・損傷が生じている。	ごく小範囲の剝離・損傷が生じているが、剝離・損傷が生じていない。	d	L=B
表法被覆工	吸出し・空洞化	防護機能や安全性に悪影響のある大規模な空洞化がある。	部分別・局部機能や安全性に影響のある空洞化がある。	—	防護機能や安全性に影響のある空洞化はない。	x	L=D
	ひび割れ	材料貫通まで達するひび割れ・亀裂が生じている(幅≧1mm程度以上)。	縦筋方向に幅≧1mm程度のひび割れがあるが、貫通まではしていない。	1方向に幅≧1mm程度のひび割れが生じているが、貫通まではしていない。	1mm以下のひび割れが生じているが、ひび割れが見えない。	c	L=B
	目地の開き、打撃部等の状況	目地開き、打撃部等のずれが大きく、堤体土の露出がみられる。	目地開き、打撃部等より水の浸透がある。	目地開き、打撃部等にずれがあるが、水の浸透はない。	目地開き、打撃部等わずかなずれ、浸透、開きが見られるが、浸透、開きが見られない。	d	B=D
	剝離・損傷	広範囲に剝離、または剥出ししている。	高層部分でなく、材料の深層まで剝離・損傷が生じている。	広範囲でもっとも悪影響の剝離・損傷が生じている。	ごく小範囲の剝離・損傷が生じているが、剝離・損傷が生じていない。	d	L=B
表法被覆工	吸出し・空洞化	防護機能や安全性に悪影響のある大規模な空洞化がある。	部分別・局部機能や安全性に影響のある空洞化がある。	—	防護機能や安全性に影響のある空洞化はない。	x	L=D
	ひび割れ	材料貫通まで達するひび割れ・亀裂が生じている(幅≧1mm程度以上)。	縦筋方向に幅≧1mm程度のひび割れがあるが、貫通まではしていない。	1方向に幅≧1mm程度のひび割れが生じているが、貫通まではしていない。	1mm以下のひび割れが生じているが、ひび割れが見えない。	d	L=B
	目地の開き、打撃部等の状況	目地開き、打撃部等のずれが大きく、堤体土の露出がみられる。	目地開き、打撃部等より水の浸透がある。	目地開き、打撃部等にずれがあるが、水の浸透はない。	目地開き、打撃部等わずかなずれ、浸透、開きが見られるが、浸透、開きが見られない。	d	B=D
	剝離・損傷	広範囲に剝離、または剥出ししている。	高層部分でなく、材料の深層まで剝離・損傷が生じている。	広範囲でもっとも悪影響の剝離・損傷が生じている。	ごく小範囲の剝離・損傷が生じているが、剝離・損傷が生じていない。	d	L=B
消波工	移動・転倒及び沈下	消波工前面がブロック部分以上露出している。	消波工前面が傾斜しているブロック部分がある。	消波工前面の一部が移動、転倒、沈下している。	ブロック部分の変状がみられるが、変状はない。	—	L=D
	ブロック破損	消波工前面がブロック部分以上露出している。	消波工前面が傾斜しているブロック部分がある。	消波工前面の一部が移動、転倒、沈下している。	ブロック部分の変状がみられるが、変状はない。	—	S=D
	移動・転倒及び沈下	消波工前面がブロック部分以上露出している。	消波工前面が傾斜しているブロック部分がある。	消波工前面の一部が移動、転倒、沈下している。	ブロック部分の変状がみられるが、変状はない。	—	S=D
	ブロック破損	消波工前面がブロック部分以上露出している。	消波工前面が傾斜しているブロック部分がある。	消波工前面の一部が移動、転倒、沈下している。	ブロック部分の変状がみられるが、変状はない。	—	S=D
砂浜	侵食・堆積	防砂・護岸等の機能維持が得られない状態にある(防砂・護岸の機能低下)。	防砂・護岸等の機能維持が得られない状態にある(防砂・護岸の機能低下)。	防砂・護岸等の機能維持が得られない状態にある(防砂・護岸の機能低下)。	防砂・護岸等の機能維持が得られない状態にある(防砂・護岸の機能低下)。	—	D=L
	移動・転倒及び沈下	防砂・護岸等の機能維持が得られない状態にある(防砂・護岸の機能低下)。	防砂・護岸等の機能維持が得られない状態にある(防砂・護岸の機能低下)。	防砂・護岸等の機能維持が得られない状態にある(防砂・護岸の機能低下)。	防砂・護岸等の機能維持が得られない状態にある(防砂・護岸の機能低下)。	—	D=L
排水工	目地の開き、相対移動量	目地あるいは欠陥がある。	目地が若干開き、水の浸透はない。	目地ずれがあるが、水の浸透はない。	目地開きが生じているが、浸透、開きが見られない。	d	B=D
	洗掘	洗掘深度が5m以上10m未満である。	洗掘深度が5m以上10m未満である。	洗掘深度が5m以上10m未満である。	洗掘深度が5m以上10m未満である。	x	L=D
前面海底地盤	吸出し(埋没)	洗掘深度が5m以上10m未満である。	洗掘深度が5m以上10m未満である。	洗掘深度が5m以上10m未満である。	洗掘深度が5m以上10m未満である。	x	L=D
	移動・転倒及び沈下	洗掘深度が5m以上10m未満である。	洗掘深度が5m以上10m未満である。	洗掘深度が5m以上10m未満である。	洗掘深度が5m以上10m未満である。	x	L=D
根固工	ブロック破損	根固工前面がブロック部分以上露出している。	根固工前面が傾斜しているブロック部分がある。	根固工前面の一部が移動、転倒、沈下している。	ブロック部分の変状がみられるが、変状はない。	x	L=D
	ひび割れ	材料貫通まで達するひび割れ・亀裂が生じている(幅≧1mm程度以上)。	縦筋方向に幅≧1mm程度のひび割れがあるが、貫通まではしていない。	1方向に幅≧1mm程度のひび割れが生じているが、貫通まではしていない。	1mm以下のひび割れが生じているが、ひび割れが見えない。	x	L=D
	剝離・損傷	広範囲に剝離、または剥出ししている。	高層部分でなく、材料の深層まで剝離・損傷が生じている。	広範囲でもっとも悪影響の剝離・損傷が生じている。	ごく小範囲の剝離・損傷が生じているが、剝離・損傷が生じていない。	x	L=D
	目地ずれ	目地あるいは欠陥がある。	目地が若干開き、水の浸透はない。	目地ずれがあるが、水の浸透はない。	目地開きが生じているが、浸透、開きが見られない。	x	H=D
基礎工	移動・転倒及び沈下	基礎工前面がブロック部分以上露出している。	基礎工前面が傾斜しているブロック部分がある。	基礎工前面の一部が移動、転倒、沈下している。	基礎工前面の変状がみられるが、変状はない。	x	L=D
	ブロック破損	基礎工前面がブロック部分以上露出している。	基礎工前面が傾斜しているブロック部分がある。	基礎工前面の一部が移動、転倒、沈下している。	基礎工前面の変状がみられるが、変状はない。	x	L=D

【点検】

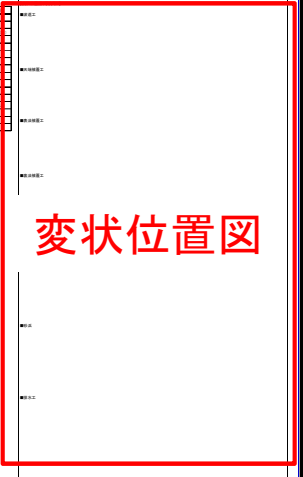
変状現象	単位	計測寸法 (単位)
防護高さの不足	(m)	高さ (D)
ひび割れ	(mm)	長さ (L)
剝離・損傷	(m)	最大ひび割れ幅 (B)
目地の開き、相対移動量	(m)	変位 (S)
沈下・陥没	(m)	変位 (L)
洗掘・埋積	(m)	長さ (L)
目地の開き、相対移動量	(m)	ずれ (B)
沈下・陥没	(m)	変位 (L)
洗掘・埋積	(m)	高さ (H)
移動・転倒及び沈下	(m)	変位 (S)
ブロック破損	(個)	個数 (n)

【備考・特記事項記入欄】



点検位置変状現象変状ランク

変状現象	変状位置	変状ランク
ひび割れ	天端被覆工	変状ランク
剝離・損傷	表法被覆工	変状ランク
目地の開き	消波工	変状ランク
沈下・陥没	砂浜	変状ランク
洗掘・埋積	排水工	変状ランク
移動・転倒及び沈下	前面海底地盤	変状ランク
ブロック破損	根固工	変状ランク
基礎工	基礎工	変状ランク



マニュアルに準じた保存様式_その他(点検・変状ランクの判定・健全度評価の結果一覧)

点検・変状ランクの判定・健全度評価の結果一覧

No.	項目名	入力内容									
▽点検対象施設の基本情報											
1	所管	管理所									
2	都道府県	県									
3	沿岸名	湾									
4	海岸名	港									
5	地区海岸名										
6	海岸管理者名	県									
▽点検の実施に係る情報											
											点検履歴
7	定期点検実施 年月日(西暦)	2015/3/1 (初回点検)									
8	定期点検実施 施設延長(m)										
9	巡視(パトロール)実施 年月日(西暦)										
10	巡視(パトロール)実施 施設延長(m)										
▽健全度等に係る情報											
											履歴の記録
											健全度評価履歴
11	健全度等評価実施 年月日(西暦)	2015/3/1 (初回点検)									
12	スパン毎の変状ランク (個数)	a									
13		b									
14		c	3								
15		d	21								
16	一定区間毎の健全度 (個数)	A									
17		B									
18		C	2								
19		D									

「点検結果の総括表」の作成事例

施設点検情報

健全度

施設情報		点検情報			点検概要
システムID	111111111	点検年月日	2014/11/1	天候	一定区間No21において、特に重大な変状が見られるため、早期に対策を実施することが望ましい
管理番号	01-001-0012-0002-1	点検者所属	〇〇〇〇株式会社		
海岸名	〇〇港海岸	点検者氏名	〇〇 × ×		
地区海岸名	〇〇地区	点検を実施した全範囲	No.1~No.12、No.16~No.30		
種類	護岸	総スパン数	30	健全度判定 A	
施設名	A護岸	計画天端高	+1.50 D.L.		
竣功年度	1988	必要な天端高	+1.50 D.L.		

スパン別変状総括表

a~d:変状ランク x:未点検 -:該当部材なし

点検位置	変状現象	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
波返し (胸壁については堤体工)	スパン別延長(m)	20.0	20.0	20.0	20.0	100.0	100.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	50.0	50.0	20.0	20.0
	防護高さの不足	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d	x	x	x	d	d	d	d	d	d	d	d
	ひび割れ	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d	x	x	x	d	d	d	d	d	d	d	d
	剝離・損傷	c	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d	c	d	x	x	x	d	c	d	d	d	d	d	d
	目地の開き、相対移動量	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d	x	x	x	d	d	d	d	d	d	d	c
天端被覆工 (水叩き工を含む)	鉄筋の腐食	b	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d	x	x	x	d	d	d	d	d	d	d	d	c
	防護高さの不足	d	d	d	d	-	d	d	d	d	d	d	b	d	x	x	x	b	d	d	d	d	d	d	d
	沈下・陥没	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d	x	x	x	d	d	d	d	d	d	c	d	d
	ひび割れ	d	c	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d	x	x	x	d	d	d	d	d	d	d	d
	目地部、打継ぎ部の状況	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d	x	x	x	d	d	d	d	d	d	d	d
表法被覆工	剝離・損傷	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d	x	x	x	d	d	d	d	d	d	d	d	c
	吸出し・空洞化	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
	沈下・陥没	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d	x	x	x	d	d	d	d	d	d	d	d	c
	ひび割れ	c	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d	x	x	x	b	d	d	d	d	d	d	d	d
	目地部、打継ぎ部の状況	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d	x	x	x	d	d	d	d	d	c	d	d
裏法被覆工	剝離・損傷	d	c	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d	x	x	x	d	d	d	d	d	d	d	d	c
	吸出し・空洞化	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
	沈下・陥没	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d	x	x	x	b	d	d	d	d	d	d	d
	ひび割れ	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d	x	x	x	d	d	d	d	d	c	d	d
	目地部、打継ぎ部の状況	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d	x	x	x	d	d	d	d	d	d	d	c
消波工	移動・散乱及び沈下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	x	x	x	-	-	-	-	-	-	-	-
	ブロック破損	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	x	x	x	-	-	-	-	-	-	-	-
	侵食・堆積	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	x	x	x	-	-	-	-	-	-	-	-
排水工	目地の開き、相対移動量	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d	x	x	x	d	b	b	b	b	d	d	d	d
	洗掘	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
前面海底地盤	吸出し(根固部)	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
	移動・散乱及び沈下	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
	ブロック破損	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
根固工	ひび割れ	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
	剝離・損傷	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
	目地ずれ	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
基礎工	移動・沈下	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
	目地ずれ	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
スパン別変状ランク		b	c	d	d	a	d	d	d	d	d	d	b	d	x	x	x	b	b	b	b	b	c	d	c

点検位置

変状現象

スパン別の変状ランク

※必ず実施する項目は赤字で示す

②修繕等の結果の記録

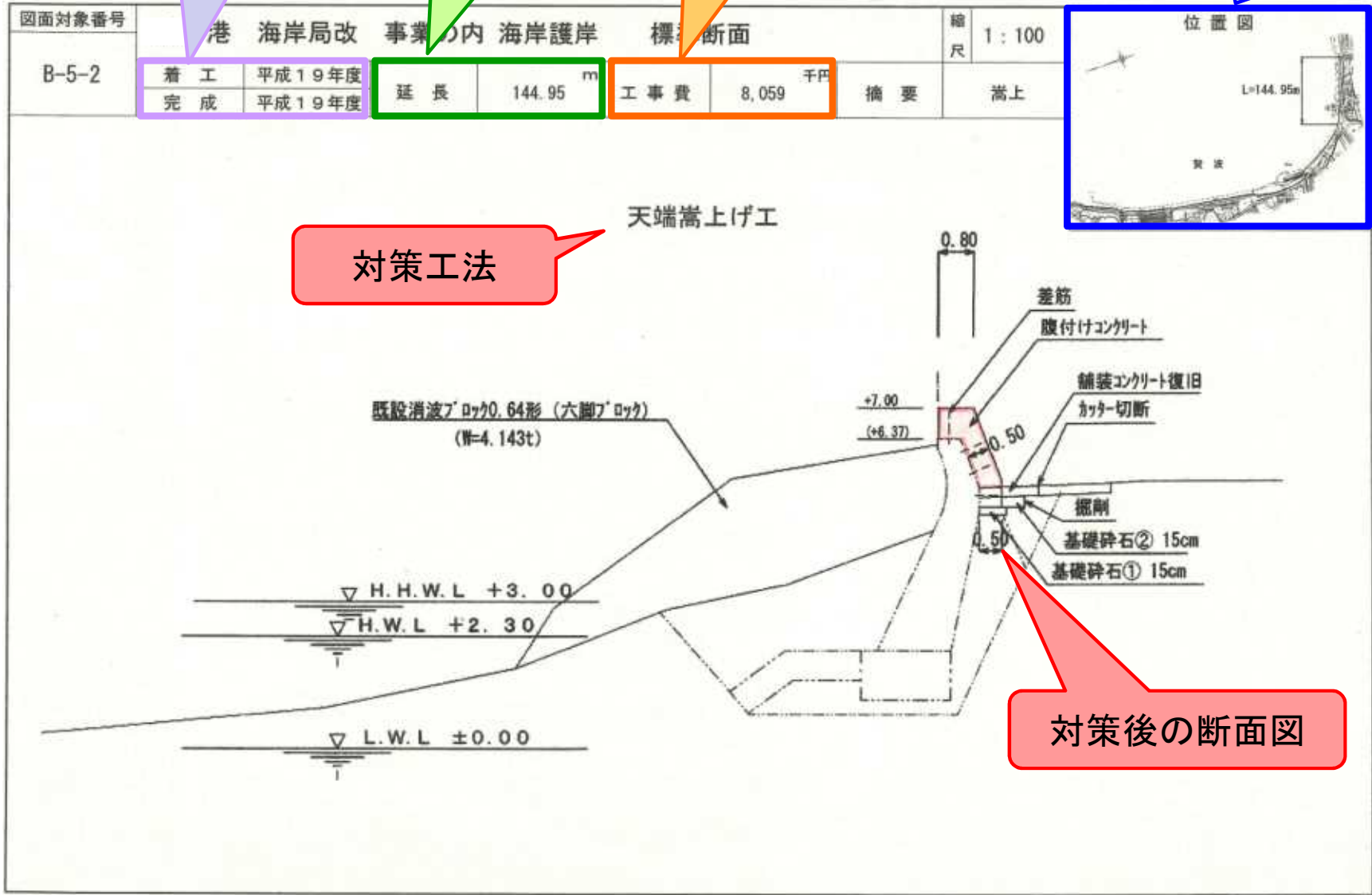
修繕等の記録_台帳の更新

対策時期

対策延長

工事費

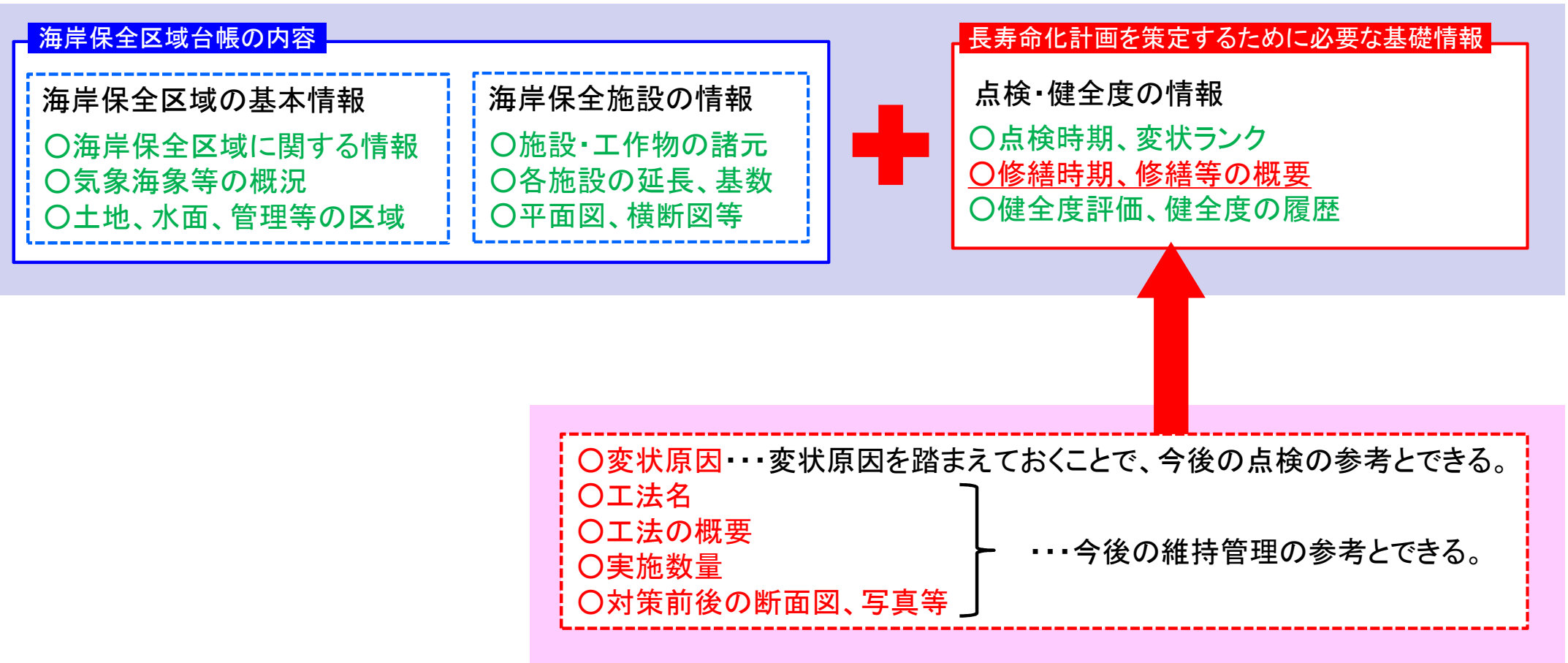
平面情報を掲載



修繕等の記録情報の追加

- ・海岸保全施設維持管理マニュアル(付録-5)で示す「修繕等に係る情報」に、新たな情報を追加することを想定。
- ・追加する情報は、変状原因、工法の概要、対策前後の断面図及び写真等を想定している。

【海岸保全施設維持管理マニュアルで示す情報】



修繕等の記録情報の追加

・海岸保全施設維持管理マニュアルの「付録-5 台帳等の電子化シート」に追加することを想定。

【点検・健全度・修繕等に係る情報の入力項目】



No.	項目名	入力内容
▽点検対象施設の基本情報		
1	所管	
2	都道府県	
3	沿岸名	
4	海岸名	
5	地区海岸名	
6	海岸管理者名	
▽点検の実施に係る情報		
		点 検 履 歴
7	定期点検実施 年月日(西暦)	
8	定期点検実施 施設延長(m)	
9	巡視(パトロール)実施 年月日(西暦)	
10	巡視(パトロール)実施 施設延長(m)	
▽健全度等に係る情報		
		健 全 度 等 評 価 履 歴
11	健全度等評価実施 年月日(西暦)	
12	スパン毎の変状ランク (個数)	a
13		b
14		c
15		d
16	一定区間毎の健全度 (個数)	A
17		B
18		C
19		D

No.	項目名	入力内容
▽修繕等にかかる情報		履歴の記録
		修 繕 等 履 歴
20	修繕等実施 年度(西暦)	
21	変状原因	
22	工法名	
23	工法の概要 ※対策前後の断面図及び写真等をあわせて保存しておくことが望ましい。	
24	実施数量	
25	修繕等に要した経費(千円)	

※青字は追加した情報

修繕等の記録様式のイメージ

海岸名		地区海岸名		一定区間		施設名		建設年度	-
担当者氏名		担当者所属						対策を実施する全範囲	No. ~

変状原因	老朽化及び長年の波浪により護岸コンクリートの劣化が進み、基礎下部からの吸出しによるものと思われる背面の空洞化により、護岸に亀裂が生じ海側に開いている。またこのことにより天端被覆が沈下している。									
対策工法	対策時期	平成25年 (建設後42年)								
	工法名	張コンクリート補強工法+間詰コンクリート+オーバーレイ舗装								
	工法の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・亀裂部や損傷の激しい護岸の前面に張コンクリートで補強する ・天端被覆をコア抜きし、穴を利用して空洞部にコンクリートを充填する ・沈下した天端被覆コンクリートの上にアスファルトで舗装する 								
	実施数量/費用	L=14.5m 間詰コンクリート7m3 / 3,168千円								
写真	「対策前」					「対策後」				
	断面図	